

(c) 印刷用紙の節約方法

－ 実行結果の確認と印刷方法 －

1. はじめに

実行結果は、通常直接プリンタに出力して確認しますが、この方法では用紙の使用量が多くなることがあります。下記のように、一旦ファイルに出力して、出力結果が正しいことを確認してからプリンタに出力する手順にすると、用紙を節約することができます。

- ・ 実行結果をファイルに出力します。
- ・ COBOLエディタを使用して出力結果を確認してから印刷します。

2. ソースプログラムの変更

次に示すように任意のフォルダのファイル名を指定します。

(ファイル実体が存在しなくても、指定されたファイルが作成されます)

直接プリンタに出力するときの指定

```
SELECT ファイル名 ASSIGN TO 'PRINTER'.
```

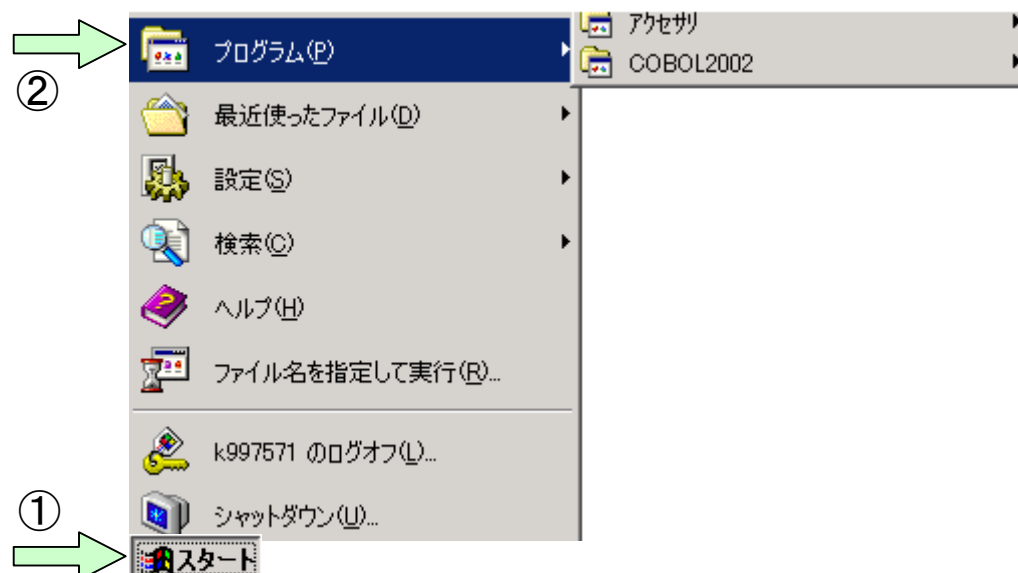


ファイルに出力するときの指定

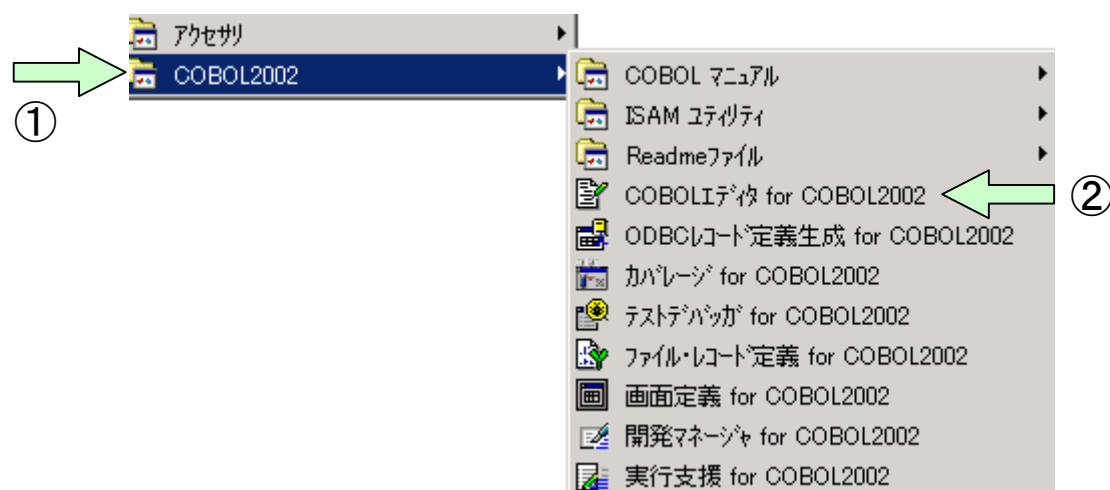
```
SELECT ファイル名 ASSIGN TO 'C:¥Temp¥data¥OUTFILE'.
```

3. COBOLエディタの起動と印刷方法

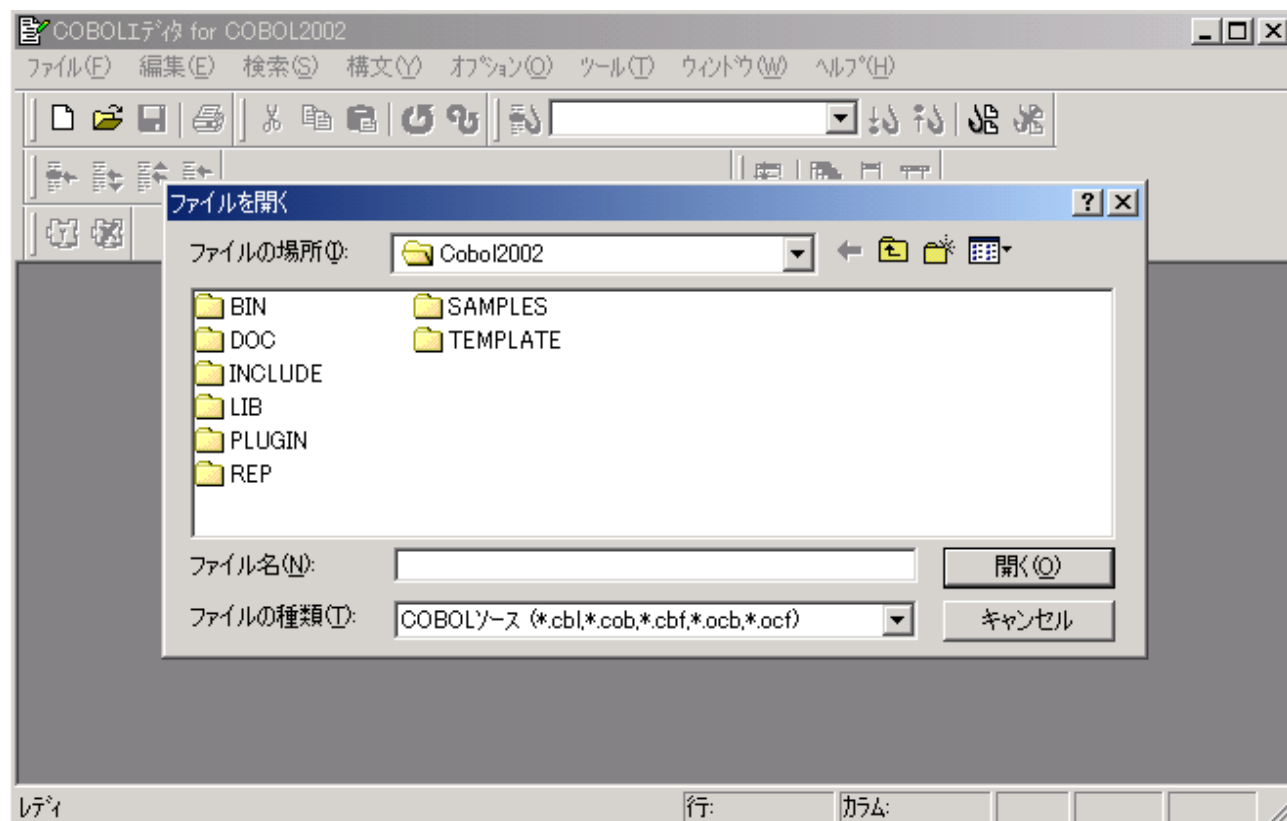
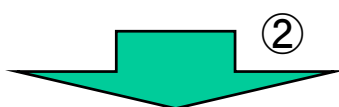
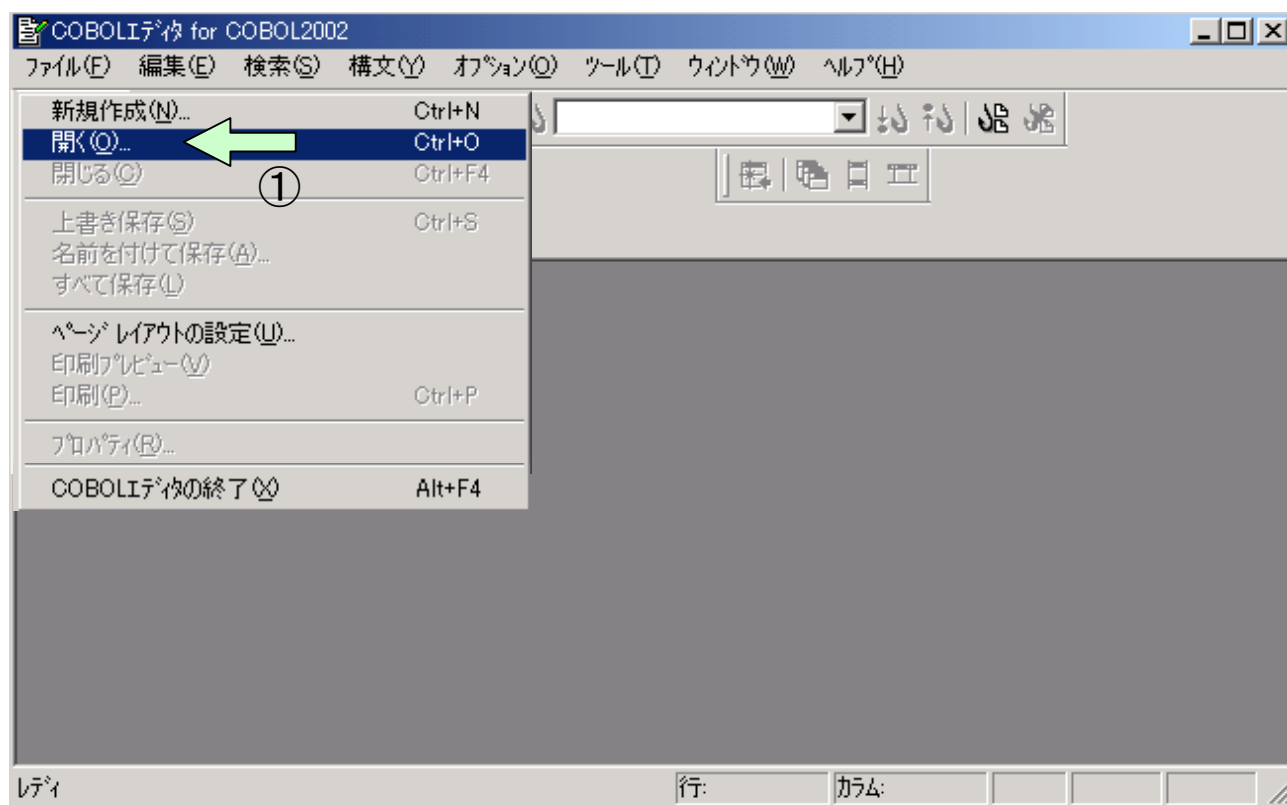
[手順 1] スタートボタンを押し (①)、「プログラム (P)」の所にマウスポインタを移動します (②)。
すると起動できるプログラムの一覧が表示されます。



[手順 2] プログラムの一覧の中から「COBOL2002」の所にマウスポインタを移動します (①)。プルダウンメニューから「COBOLエディタ」を選択します (②)。



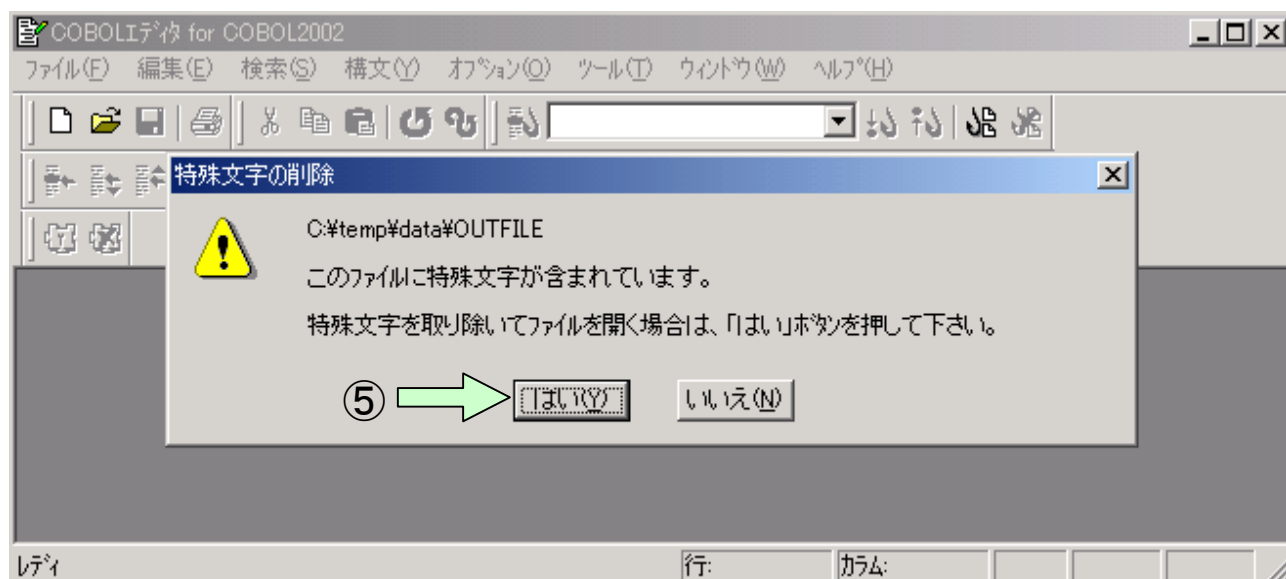
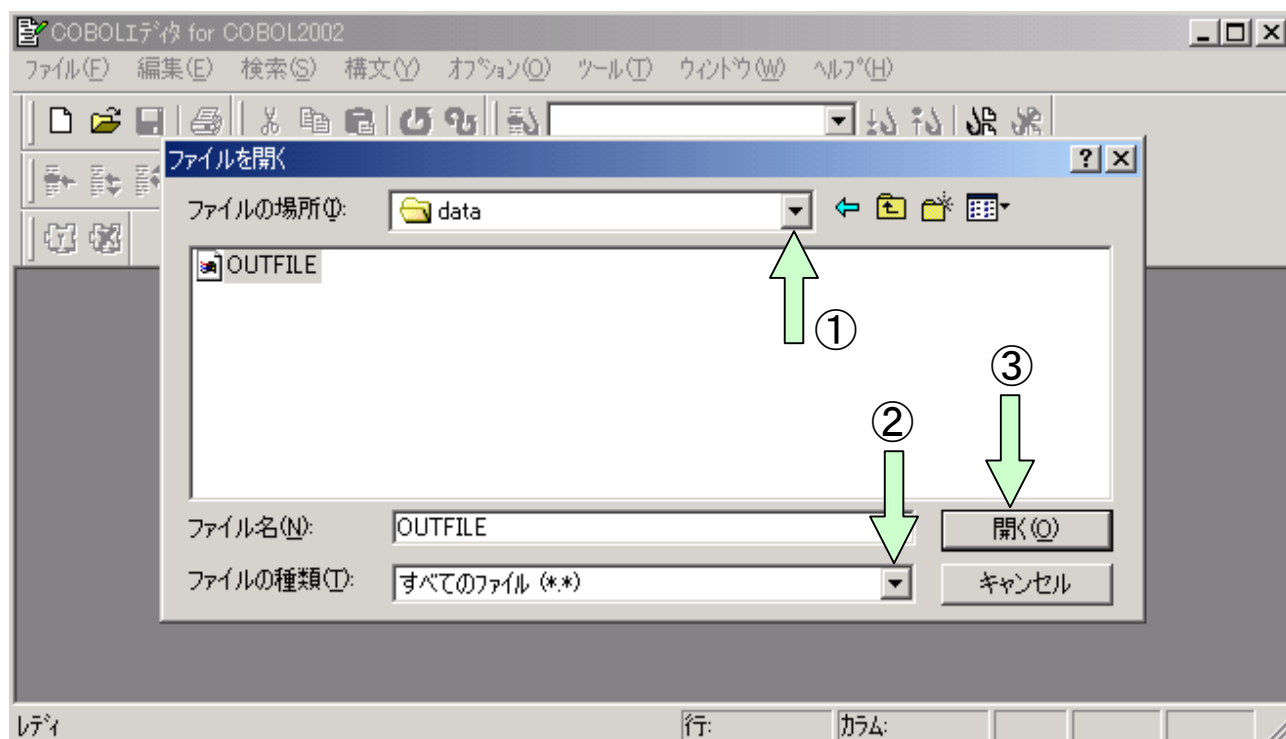
- [手順 3] 出力ファイル(C:\¥temp¥data¥OUTFILE)の表示
 起動されたCOBOLエディタ画面より「開く(O)」を選択します(①)。
 すると「ファイルを開く」画面が表示されます(②)。



[手順 4] 「ファイルを開く」画面から

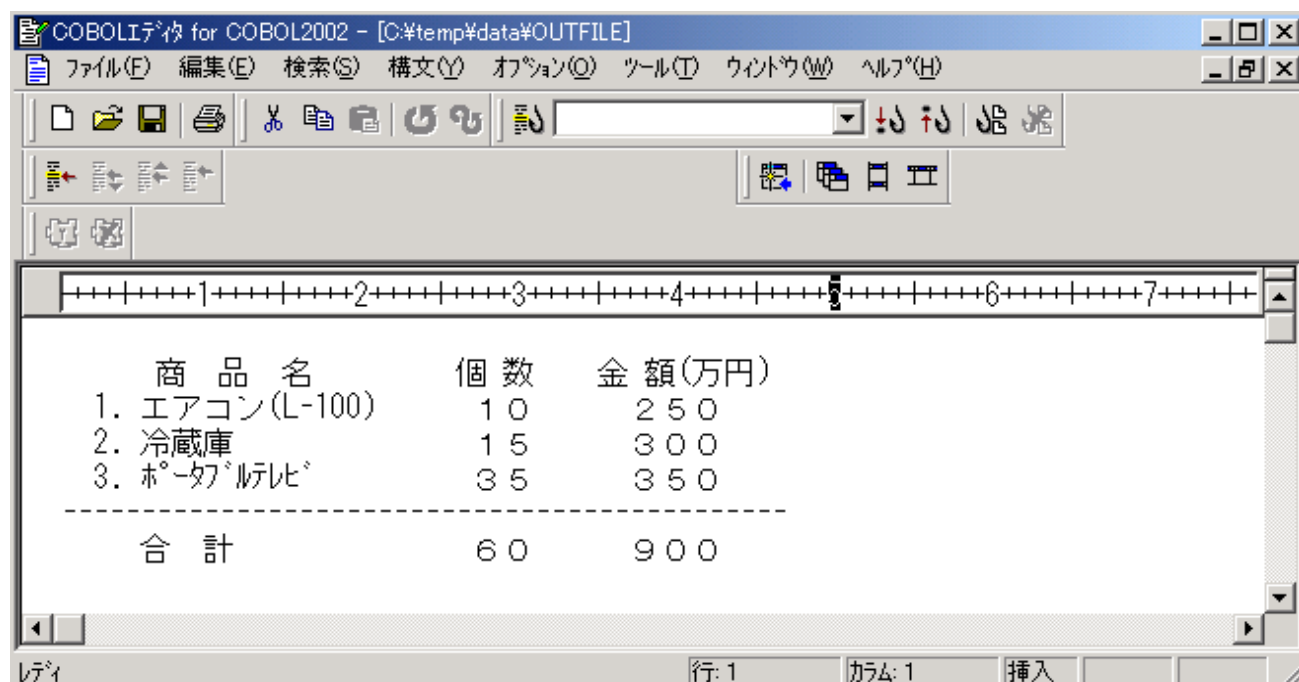
- ①「ファイルの場所」で該当フォルダ(C:\temp\data)を指定します。
- ②「ファイルの種類」で「すべてのファイル(*.*)」を選択し、表示されたファイルの一覧から「OUTFILE」を選択します。
- ③「開く(O)」ボタンをクリックします。
- ④ファイル中に特殊文字が含まれていると、「特殊文字の削除」画面が表示されます。
- ⑤「はい(Y)」をクリックすると、「OUTFILE」が表示されます。

* 印刷ファイルは改行コード(特殊文字)が含まれるため「特殊文字の削除」画面が表示されますが、ファイルの表示内容には影響ありません。

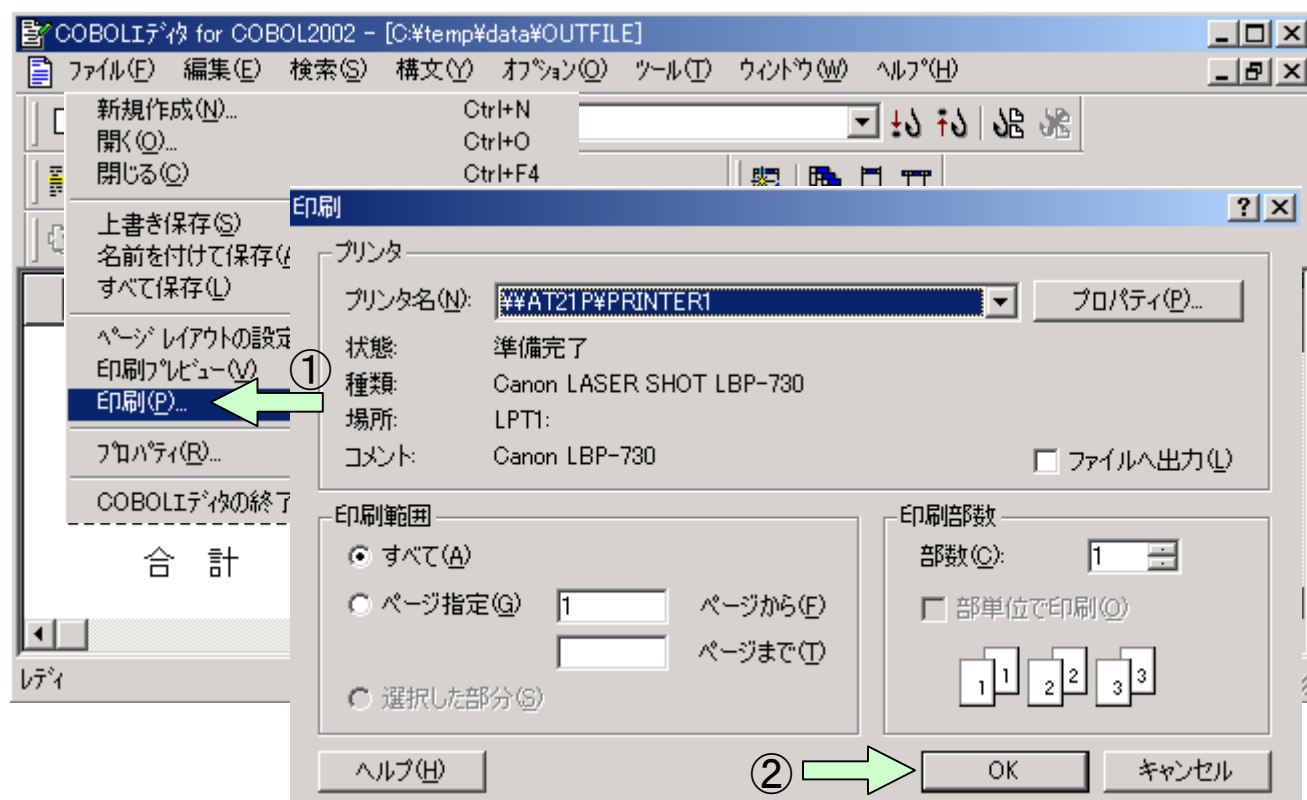


〔手順5〕 表示された「OUTFILE」の内容が正しい場合は印刷します。

- ① エディタのメニューバーの「ファイル(F)」をクリックし、プルダウンメニューの中から「印刷(O)」を選択すると「印刷」画面が表示されます。
- ② 「印刷」画面の「OK」ボタンをクリックします。



印刷



(d) 印刷書式の設定方法

ーはじめにー

プリンタへ出力するときの印刷書式の設定は、開発マネージャから「実行支援」ツールを起動して設定します。

[ワンポイントアドバイス]

プリンタ出力時に次のエラーが出力されることがあります。

KCCC3907R-W 文字列の出力がページの右端を超えています。

このエラーの対処としては、次の方法が考えられます。

＜ソースプログラムの修正＞

- ・ プリンタファイルに対するファイル管理記述項に次の指定をする。

ORGANIZATION IS LINE SEQUENTIAL

この指定をすると、後部の空白を詰めて印刷します。各行の後部に空白があるときは、空白の分だけ出力データが短くなるので、エラーを回避できることがあります。

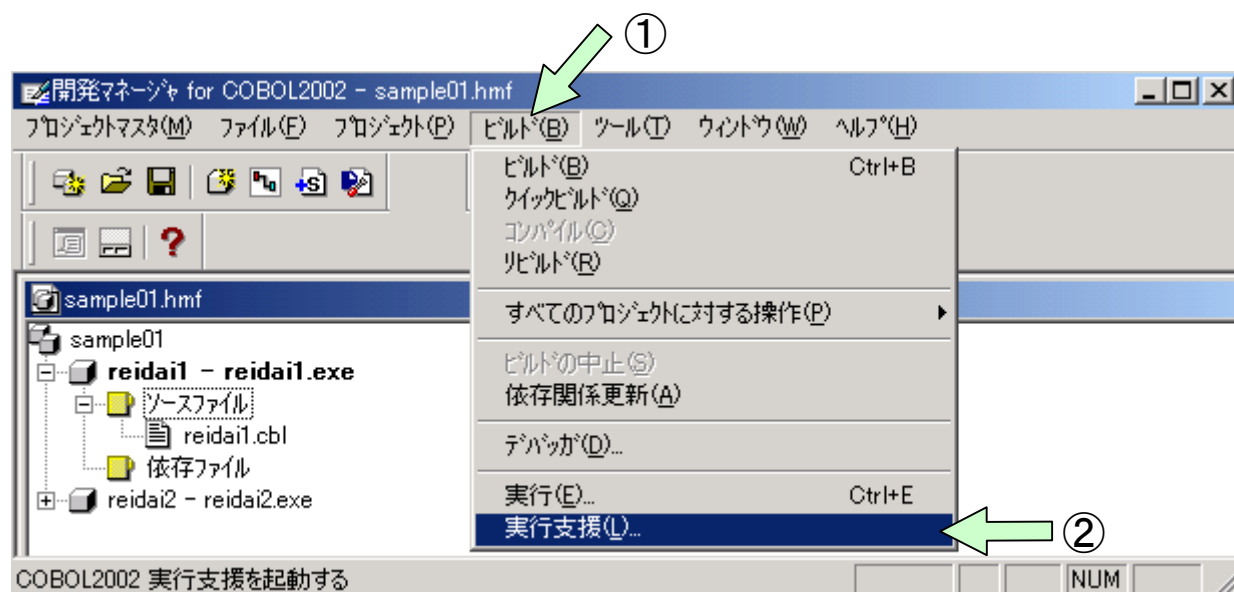
- ・ 出力レコード長を印刷できる範囲に変更する。

＜実行支援ツールの設定＞

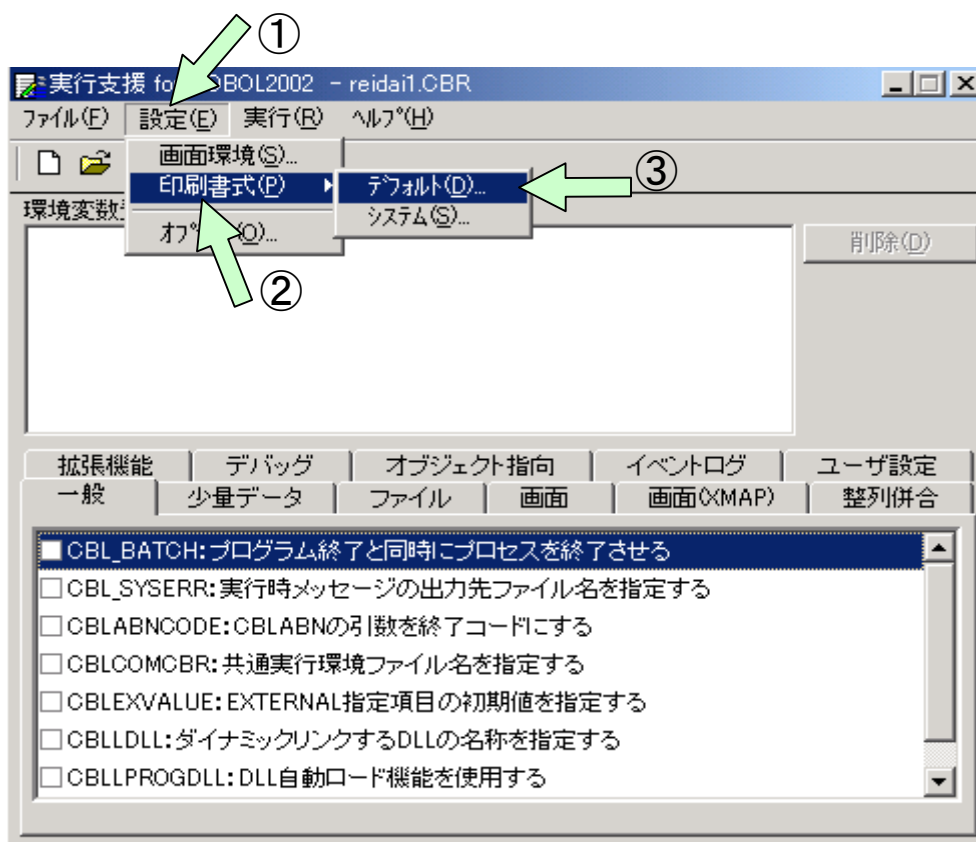
- ・ 用紙の向きを横に変更する。用紙の向きが縦になっていると、1行に印刷できる文字数が少ないためにエラーになりやすいといえます。
- ・ 余白/字間値/文字サイズを調整して1行に収まるようにする。

1. 印刷書式の設定

[手順 1] 「開発マネージャ」のメニューバーから「ビルド (B)」をクリックし、プルダウンメニューの中から「実行支援 (L)」を選択します。



[手順 2] 「実行支援」のメニューバーの「設定 (E)」をクリックし、プルダウンメニューの中から「印刷書式 (P)」 - 「デフォルト (D)」の順に選択します。



- [手順3] 余白/行間隔/フォント/文字サイズ等の設定をします。
用紙のサイズや印刷の向きは「プリンタの設定(P)」で設定します。

詳細設定

プリンタ
名前: ¥¥AT21P¥PRINTER1
場所: LPT1:

OK
キャンセル

☒ 通常使うプリンタに出力(D)

余白/行/文字 | 書体

余白(インチ)
上(T): 0.5 左(L): 0.5
下(M): 0.207 右(R): 0.207

印刷行数(N): 自動

行間隔(Q): 4 lpi (18 pt) 間隔(Q):
字間隔(H): 10 cpi 間隔(B):

☐ 半角文字と全角文字の間隔を調整する(Q)

文字
フォント名(F): 明朝 スタイル(Y): 標準
サイズ(S): 9 pt 配置(A): 下揃え

プレビュー
AaBbYyZz ああ アア 亜字
AaBbYyZz ああ アア 亜字
AaBbYyZz ああ アア 亜字

プリンタの設定(P)...

- [手順4] 「プリンタの設定」画面で、用紙サイズのリストボックスから該当する用紙サイズを選択(①)します。印刷の向きは、「縦」、「横」のラジオボタンから選択(②)します。必要な情報を設定したら「OK」ボタンをクリック(③)して終了します。

プリンタの設定

プリンタ
プリンタ名(N): ¥¥AT21P¥PRINTER1 プロパティ(P)...

状態: 準備完了
種類: Canon LASER SHOT LBP-730
場所: LPT1:
コメント: Canon LBP-730

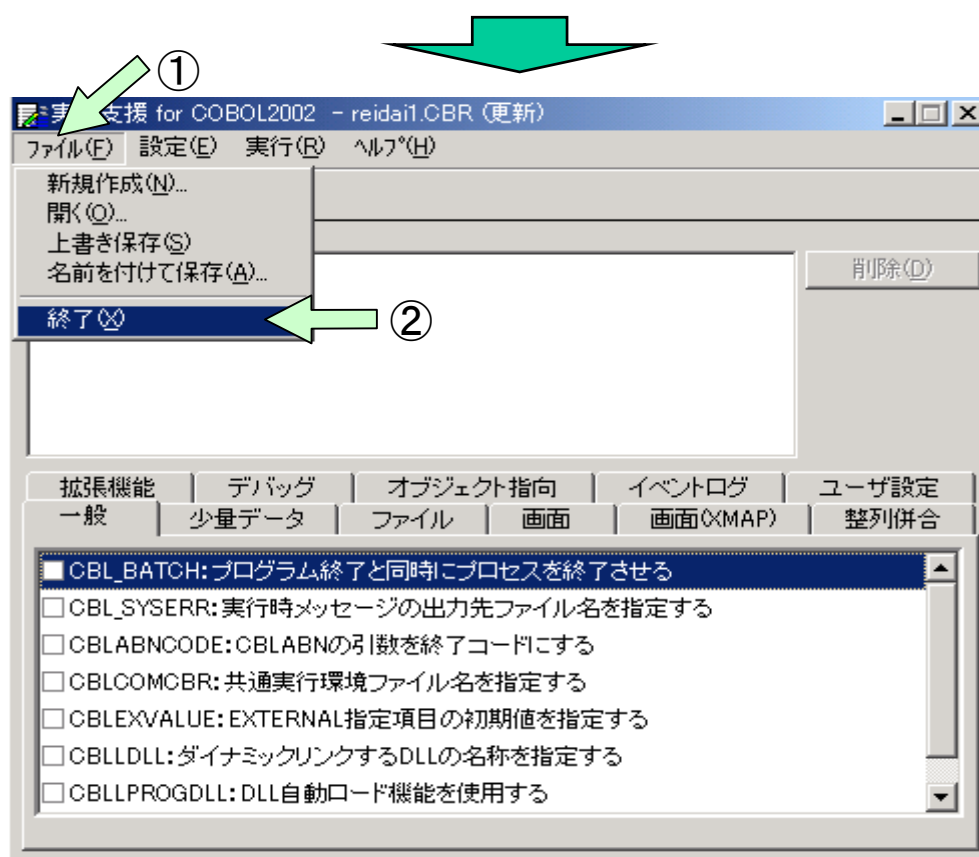
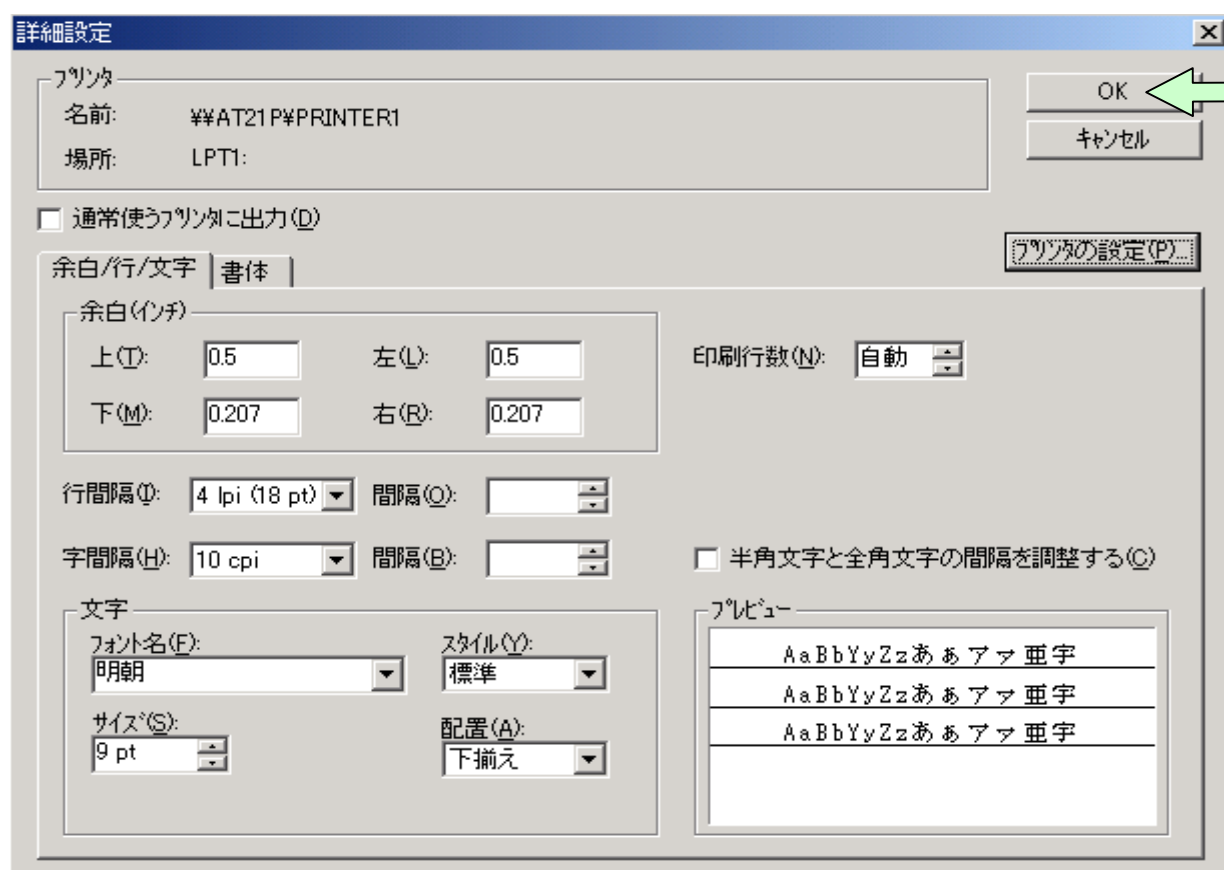
用紙
サイズ(S): B4 (JIS)
給紙方法(S):

印刷の向き
縦(O) 横(A)

OK キャンセル

① ② ③

- [手順5] 「詳細設定」画面に戻ったら、「OK」ボタンをクリックして終了します。
 「実行支援」画面に戻ったら、メニューバーの「ファイル(F)」をクリックし、プルダウンメニューの中から「終了(X)」を選択します。



[手順7] すると以下のダイアログが表示されます。必ず「はい」ボタンをクリックしてください。「はい」ボタンをクリックすると設定した内容が保存され、開発マネージャの画面に戻ります。

